



JAゆうべつ町



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠を付けてみました。



激励状を受け取った上原恒一郎・陽子夫妻[Ⓐ]と
國井 護・笑子夫妻[Ⓑ]

新規就農者激励状贈呈

JAGグループ北海道並びにJAゆづべつ町から地域の農業・農村を担う一員として、新規就農者が英知と努力をもって農業に意欲的に取り組むことを期待し激励状を贈呈致しました。

例年であれば組合員交流会にて紹介する予定でしたが、コロナ禍という事もあり、それぞれの就農先へ外出き贈呈する事になりました。手渡された激励状の他に記念品として家の光書籍とJA配置薬が送られました。



▲研修に入った頃の國井夫妻

今年の4月計呂地地区に就農した上原恒一郎さん陽子さん夫妻、6月に信部内地区に就農した國井護さん笑子さん夫妻ともに、就農後数カ月経過しており「酪農家」としての生活にも慣れつつあり、笑顔を絶やさずに営農されています。



▲研修に入った頃の上原夫妻

國井護さんは凛々しい姿で仕事をされており地域の人から「スマートになつてまるで別人のようだと言われています。」と少し照れながらお話しておりました。上原恒一郎さんは就農したばかりで忙しい毎日だが、「子供達との時間も大切にしていきたいので、そのことをモチベーションに頑張ります。」と意気込んでおりました。

秋まき小麦収穫作業を終えて ～湧別町麦生産組合～

湧別町麦生産組合は7月24日から秋まき小麦の刈り取り作業を開始し、8月5日に無事作業を終了しました。

昨年の秋の播種時期から天候に恵まれ根雪前の茎数も充分であったことと、適度な残雪量により融雪後の風雪害の影響もなく小麦の生育には好条件な天候となりました。干ばつの影響による細麦の懸念がありました。が、充実した麦が多く結果的には2年前を上回る収量となりました。



▲秋まき小麦の収穫作業の様子



▲調整作業を行う寒河江職員(手前)と金子至輝さん(奥)

また、8月25日から調整作業が開始され1カ月程度かかる見込みです。

調整作業を行っていた上芭露の金子至輝さんと農畜産販売課の寒河江職員は「干ばつの影響で小麦含有水分が低く、収穫時の機械的損失(割麦)の発生が若干あるものの、屑麦は少なく製品歩留まりが高いので全量一等麦で調整を行います。」と意気込んでおりました。

酪農学園大学3年生の太田芽衣さん 再び農業実習に挑戦!!

大学が夏休みとなる8月。実習生宿泊施設「みるくる」も例年であれば多数の実習生で賑わいますが、コロナ禍という事もあり、今年はずかな夏休みを迎えています。そんな中、以前来ていただいた実習生が再度湧別に実習に来てくれました。事前のPCR検査の実施、マスク配布や検温、消毒の徹底など、コロナ感染拡大対策をしっかりといながらの受け入れとなりました。

実習を行った太田芽衣さんは、酪農学園大学の3年生。「前回の実習で学ぶことは多かった。現場での学びを通じて、更なるスキルアップをしたい」と2回目の実習を希望しました。

受け入れしていただいた東地区の小野信一牧場では、牛舎での作業の他に、コンバインでの収穫や獣医対応等も見学させていただきました。太田さんも「大学ではできない、現場での貴重な体験をさせてもらえて非常にありがたかったです。」と感謝していました。

太田さんには農業の新たな担い手となってくれることを期待するとともに、受け入れてくださった小野さんには改めてお礼申し上げます。



▲小野牧場で実習する太田さん



哺育・育成センター稼働に向けて (株)デリーフファーストゆうべつ

(株)デリーフファーストゆうべつは、村井場長をはじめ牧場スタッフと本年10月の稼働に向けた打合せを毎週2回、農業改良普及センターやJA等各関係機関と実施しております。仔牛の集荷日の設定や受入時の検査等、作業ごとのマニュアルなど作業管理工程を日毎・週毎、細かく設定し本格稼働に向けて準備をしております。牛舎ごとにも作業手順を決定していきます本格稼働に向けて着々と準備が進んでおります。

場長の村井秀和さんは「酪農家の皆さんが安心して仔牛を預けられる哺育センターにしていきます。」と準備に余念がありません。

また、従業員に対してNOSA―獣医師から個別研修を行い乳牛に対する知識向上を目指し受入体制を万全にしていく計画となっております。

7月29・30日には酪農学園大学の大家教授と加藤教授が来町され哺育育成センター稼働に向けて施設を視察されました。



▲酪農学園大学・関係機関との意見交換の様子

湧別町と酪農学園大学が連携協定を結んでいる縁もあり、今後の運営方法や技術的指導においてサポートして頂く事になっております。今回は2日間の短い日程でしたが建築中の各施設を見学後、取締役や従業員、NOSA―獣医師を交え稼働に向けて意見交換を行いました。



畜産 「乳質の向上」

毎年、夏期になると生菌数が高くなり、乳質低下の大きな要因になります。次のことに注意して生菌数低下に努めてください。

「生菌数」を上げない

生菌数の上昇の大きな要因には、ミルクカーなどの洗浄不足が考えられます。

- ① 洗剤の濃度は、洗浄水量に対してアルカリ洗剤0.5%、酸性洗剤1.0%が必要。
 - ② 通常のアルカリ洗浄のほかに4日に1回、アルカリ洗浄の後に酸性洗剤で洗浄を行う。
 - ③ アルカリ洗剤は、洗浄後の排水温度が42度より低い場合、洗浄効率が低下するため洗浄温度の確認を行う。
 - ④ 高温だと塩素が揮発するため殺菌剤は、43度以下で使用する。
 - ⑤ 毎年必ず機器の点検を行い、修繕の必要な部分については直ちに整備を行う。
- 乳石を付着させないためには、ミルクタップなどの掃除も大切です。

洗浄温度の確保

ミルクカーを洗浄する場合、ラインの長さによりますが最低でも60リットルの温湯が必要です。



適正に洗浄するとこうなる！

バケットミルクカーの点検は行っていますか？

システム点検の際に一緒に点検を行う。

ミルクカーシステム点検の際には、バケットミルクカーの点検と一緒にを行うと便利です。

特に注意して行つて欲しいのは次の二点です。

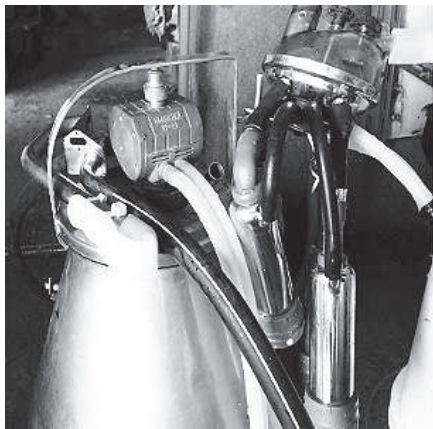
- ① パルセーターの確認
パルセーターはバケットミルクカーの心臓部です。システム点

検の際には、パルセーターレコーダーを使い測定しますが、安定的に拍動数が確保されているか音を聞いて確認する方法もあります。必ずメーカー指定の拍動数であるか確認して下さい。

② ライナー交換

パイプラインミルクカーのライナー交換はメーカーに依頼して行っていることが多くなっていますが、まだバケットミルクカーは自分で行っている例が多く見られます。

いつ交換したのが分かるように記録を残しておくことも大切です。



衛生的に保つかが大きな鍵になります。

- ① 牛床には常に十分な敷料と石灰資材を使い、乾いた状態を出るだけ保つ。

- ② 牛床に尿溜などが見られた場合、牛床マットなどの交換を考える。

- ③ カウトレーナーの設置位置を調整し、バンクリーナーに糞尿が落ちるようにする。

- ④ 牛舎内の空気を動かすため大型扇風機などを設置する。

舎内を明るく清潔に！

舎内を明るく清潔にする方法として石灰塗布があります。是非、散布を考えてみて下さい。



「牛舎内環境の向上」

乳質を向上させるためには、牛舎内の環境をどのようにして

「若里ジャーシーミルク工房
ARVO-アルボ」が
オープン

計呂地の(尙)中谷牧場は8月8日、旧若里小学校を改装した加工場に併設されたカフェ「若里ジャーシーミルク工房ARVO(アルボ)」をオープンしました。

プリンなどのジャーシー牛の生乳にこだわった製品を販売しています。現状は新型コロナウイルス蔓延防止対策でテイクアウトのみとなっておりますが、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



若里ジャーシーミルク工房 ARVO-アルボ
住 所：常呂郡佐呂間町若里 498-2
営業時間：11：00～16：00
(土日祝日のみの営業となります)

畜産GAP研修会が
開催されました

8月6日に文化センターさざ波で、地域における畜産GAP研修会が開催されました。

エス・エム・シー株式会社の高須賀寛三氏を講師に、2017年から始まった畜産GAPについて制度や内容を説明され、参加者は真剣な面持ちで講習を受けていました。

当農協でも普及の為JGAP指導員の取得に取り組んでいます。JGAPがどんなものか知りたい方、取得を真剣に考えている方は、本所営農相談課までお気軽にご相談ください。



▲研修会の様子

オホーツク
管内限定

サンバー

SAMBAR

トラック

バン

JA特別パッケージ

スバル サンバートラック



グランドキャブ
スマートアシスト
ホワイトⅢ

TBスマートアシスト
ホワイトⅢ



◆ 問合せ先 ◆
湧別町農協
車両整備工場
TEL：5-2219

農協 お知らせ版

令和3年度 第7回理事会

8月27日開催

報告事項

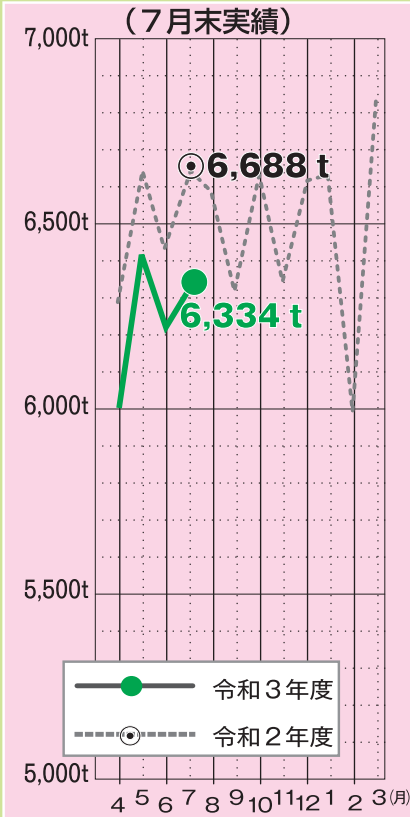
- ①酪農学園研修(哺育センター)について
- ②オホーツクJA共済推進委員会について
- ③株スノー食品工業通常総会について
- ④共済推進委員会について
- ⑤第4回オホーツク農業協同組合長会議及び武部衆議院議員との意見交換会について
- ⑥バイオマス発電建設に係る進捗状況について
- ⑦哺育センター建設にかかる進捗状況について
- ⑧令和3年7月末生乳生産実績について
- ⑨自由金利型定期貯金の受入れと貯金残高の推移について
- ⑩組合員の営農実績報告について

協議事項

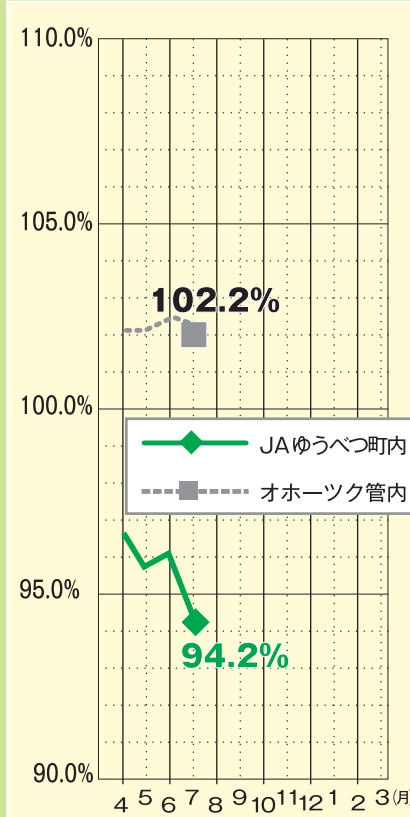
- ①組合員の異動について
- ②令和3年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- ③贈与税納税猶予に係る債務保証の解除について
- ④資材店舗改革について
- ⑤寒冷地手当の支給について
- ⑥農作物販売契約等について

令和3年度生乳出荷状況について

JAゆうべつ町生乳出荷乳量推移



生乳出荷乳量との前年比較



退職のご挨拶

8月末をもって退職となりました。大変お世話になりました。

金融共済課 共済係

途中 彩人

⑦令和3年度湧別町功労者表彰の推薦について

あなたも 食品ロス削減でSDGsを実践しよう!!

家の光 9月号 JA女性組織学習企画

家庭でできる! みんなでできる!
食品ロスを減らすワザ

「家の光」9月号を読んで、
 ★ムダをつくらず ★ムダを省き ★ムダを有効活用!

すぐに取り組める
 「食品ロス削減ワザ」
 を紹介します



家の光 9月号 922円(税込) お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ